

CONTENTS

- 2 身近な「食」と「農」を学ぶ食農教育
- 4 鬼怒川緊急対策プロジェクト進行中!
- 5 平成30年4月から国民健康保険制度が変わります
- 6 茨城国体開催まであと2年!
- 7 第25回市民スポーツレクリエーション祭
- 8 市民のページ
- 10 暮らしのアドバイス
- 10 タイ王国メーサイ市と国際親善姉妹都市盟約5周年を迎えます
- 11 ひとの人権わたしの人権
- 11 男女共同参画社会
- 12 シリーズ介護保険
- 12 けん口広場2017
- 12 葉
- 13 健康増進センターだより
- 13 市民健康教室
- 14 ゆうき図書館からのお知らせ
- 14 市民活動支援センター登録団体活動
- 15 結城市文化協会加盟団体紹介

身近な「食」と「農」を学ぶ食農教育

●食農教育ってなに？
食育に農業体験活動を加えたもので、食を五感で捉え、食と農を一体的に学習する教育活動であり、食べることで育てることを繋ぐことにより、食の大切さ、生命の尊さや人と人の繋がりを地域連携の大切さを学び、自然の仕組みを理解する感性を育成する取り組みのことです。



結城で行われている農業体験・収穫体験!! ～イベント主催者にお話を伺いました～

結城パウロニアクラブ
会長 山口はつひさん

●梨・ぶどう収穫体験をやるようになったきっかけは？
山口 収穫体験は、以前から行っており、はじめはトウモロコシの収穫体験を行っていましたが、7月末は天気が不安定で、募集しても実施できないことが多かったので、時期をずらしました。梨狩りは、いちご狩りやサクランボ狩りと違い、あまり無いので、珍しがって参加してくれる方も多かったです。

●育てた作物を参加者が収穫するのを見てどのように感じますか？
山口 イベントを実施するのには、毎年苦労はしますが、参加者が楽しんで収穫しているのを見ると、やってよかったです。クラブ員どうし協力してイベントの運営をしていく面白さ、また、普段体験できない収穫体験に参加者が目をキラキラさせて参加するのを見るとほほえましく思います。

イベント情報
田んぼアート稲刈り体験
日時/10月15日(日)予定
場所/田んぼアート絹会場
対象/市内小学5・6年生
主催/田んぼアート実行委員会

●毎年盛況の田んぼアートですが、今後どのようなことに取り組んでいきたいですか？
赤木 田んぼアート事業に絡めて、農産物の6次産業を利用した体験型施設やレストランなど地域活性化につながる取り組みを行っていかねばと考えています。

●田んぼアートに取り組むようになったきっかけは？
赤木 農業振興、地域の活性化、子どもたちの教育の一環として、身近な米を使い圃場に絵を描いてみてはという考えから実施するようになった。

●収穫体験を行うようになったきっかけは？
秋元 青少年育成事業の一環で、毎年子どもを集めてキャンプを行っていたんですが、今年からいもほり体験を事業に加えました。

●イベントをとおして参加者にどのようなことを学んでほしいですか？
秋元 収穫作業だけでなく、種まきから参加してもらい、農業の大変さや食の大切さを感じてもらいたいです。後継者不足が進んでいく中、農業体験をとおして、楽しさを知ること、農業を将来魅力ある職業の一つとして見ていただくと嬉しいです。

宮崎協業
秋元 勇人さん

いもほり体験
●収穫体験を行うようになったきっかけは？
秋元 青少年育成事業の一環で、毎年子どもを集めてキャンプを行っていたんですが、今年からいもほり体験を事業に加えました。

●イベントをとおして参加者にどのようなことを学んでほしいですか？
秋元 収穫作業だけでなく、種まきから参加してもらい、農業の大変さや食の大切さを感じてもらいたいです。後継者不足が進んでいく中、農業体験をとおして、楽しさを知ること、農業を将来魅力ある職業の一つとして見ていただくと嬉しいです。

市農政課 ☎34-0419



表紙の写真

「食のつながり」
結城で作られた農作物や生産者、そして食農教育に関するイベントの様子。